

北杜

2018 Vol. 54

議会だより

シリーズ市内の文化財

『前沢正八幡神社のケヤキ』
(白州町白須6668)

このケヤキは、根元の張り具合に特徴があり、この地方ではまれに見る巨樹である。
〔昭和48年12月町指定天然記念物〕

3月定例会



- 一人ひとりが輝くふるさと北杜をめざして②
- 委員会レポート⑤ 市長の所信表明⑧
- 会派代表質問⑨ 一般質問⑬
- 声のひろば⑳ 北杜市ウォッチング㉔

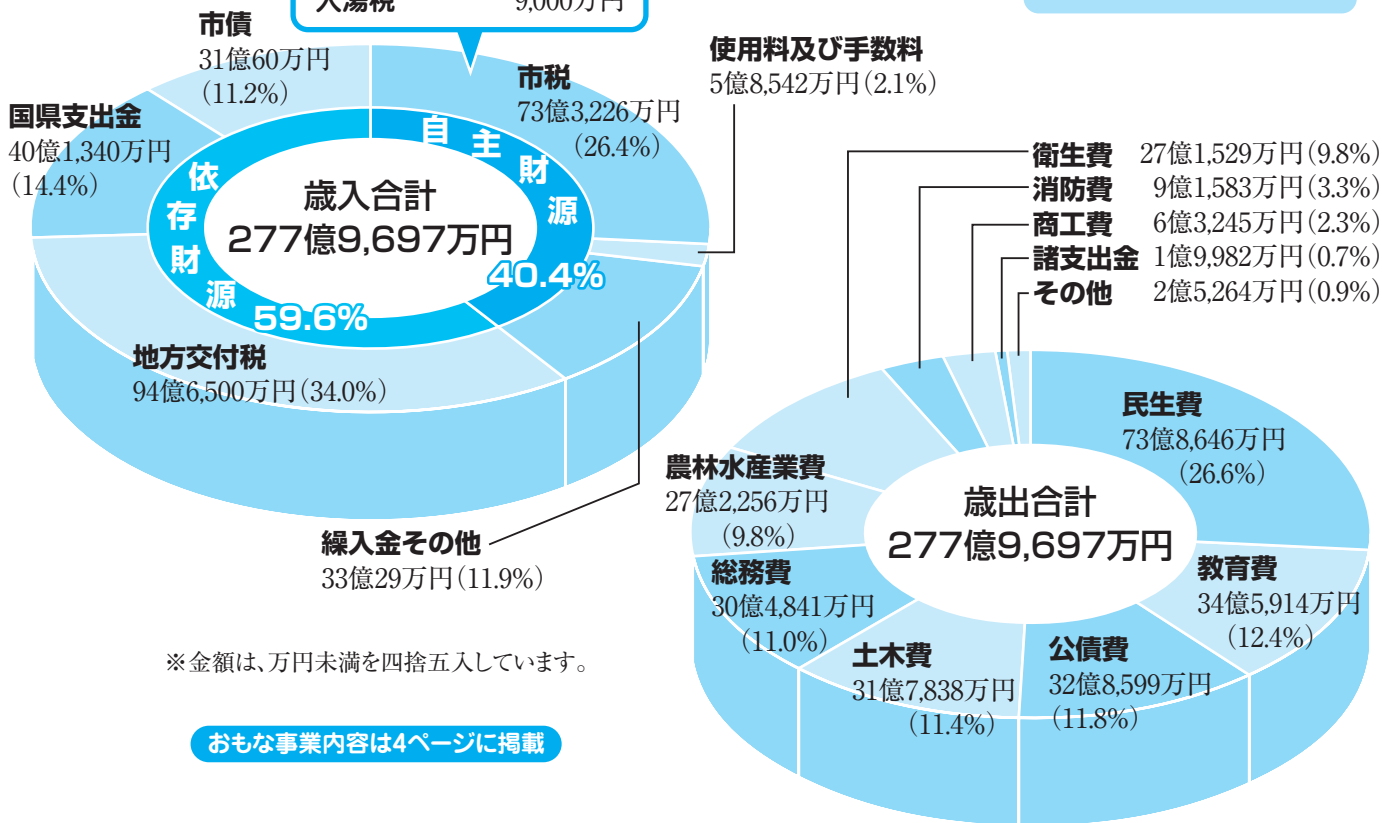
第1回定例会は、2月27日から3月16日までの18日間の会期で開催し、市長提出の平成30年度当初予算をはじめ条例改正、報告など計58件を審議し、原案のとおり可決しました。
また、請願1件と動議1件を継続審査としました。

さと北杜をめざして

健幸北杜

市税の内訳

市民税	25億 830万円
固定資産税	43億1,236万円
軽自動車税	1億8,160万円
市たばこ税	2億4,000万円
入湯税	9,000万円



※金額は、万円未満を四捨五入しています。

おもな事業内容は4ページに掲載

当初予算 一般会計

反対討論 池田恭務

市債の繰上償還などには賛同するが、それを優先し、行政サービスが受けられない状況がある。効果目標を明確に示す必要がある。

賛成討論 秋山俊和

事業効果や施策の優先度を厳しく精査した予算。市政各般にわたる重要課題に総力を挙げて対応した予算である。

反対討論 清水 進

子育てや日々の生活の困難に直面しているときこそ、その生活を応援する施策に予算を与えることが必要である。

賛成討論 加藤紀雄

「お宝いっぱい健幸北杜」に掲げる主要施策に重点的に取り組む一方で、総量総額抑制した、内容の充実したバランス感覚のある予算である。

※賛成18、反対3で可決

当初予算 特別会計

国民健康保険

反対討論 志村 清

予算案は国保税を据え置くものとなっている。税を引き下げるために基

金の活用がされていない。

賛成討論 内田俊彦

基金取り崩しなどにより、今回の国保税になった。他市と比べ安い。歳出は、年々増加している。確実に運用することを考えるべきである。

※賛成19、反対2で可決

介護保険

反対討論 志村 清

基金を取り崩し大幅な値上げを回避した努力は評価できるが、所得段階の号分けを細分化するなどの工夫を重ねて値上げを避けるべきである。

賛成討論 秋山真一

10年先も健全に保険制度が運用できることを見据えた保険料であり、施策に連動したサービスを安心して利用できるよう考慮されている。

※賛成19、反対2で可決
その他特別会計予算11件は全員賛成で可決

29年度補正予算 一般会計

一般会計 (5号)

問 一般会計補正予算特別委員会へ、参考人として

増富地域再生協議会会長が出席し、発言しているが、協議会を代表した発言か。
答 協議会の一任の中で

平成30年度
一般会計予算

一人ひとりが輝くふる

お宝いっぱい

責任者として、参考人として出席した。

賛成討論 栗谷真吾

地方創生推進交付金事業の減額補正について、事業が中止に至った明確な理由が分からず、疑義が全く晴れない。

賛成討論 秋山俊和

交付金事業は、協議会で28年度に不適切な事務処理があり、国に返金する措置を講ずるための減額予算で、特別委員会でも慎重に審議し可決した。

反対討論 清水 進

交付金事業はなぜ中止なのか、会計処理の不適切だけでは、その理由が明らかでない。原因の解明が必要である。

賛成討論 加藤紀雄

交付金事業の中止は、協議会と市で慎重に検討した結果である。この事業以外に、緊急かつ必要な補正であり、可決しないと住民サービスの低下や一時停止となりかねない。

反対討論 池田恭務

特別委員会では、執行部と現協議会会長からの説明となり、原因説明の客観性に疑問が残る。理由がはっきりしない以上再発防止につながらない。

賛成討論 内田俊彦

なぜ事業を中止せざるを得なかったのかは、不正な公金支出があったことと、協議会の総会で事業を中止するという、この2点で理由は成立する。

反対討論 志村 清

事業継続に向け、指導を続けた市の姿勢は支持できるが、協議会が中止を決めた主な理由を不適切な会計処理だけでは理解できない。

反対討論 原 堅志

前定例会で「事業終了の相談があり、事業の進め方などについて、国・県などの関係機関と調整している」との答弁があり、ここにきて全額減額することは理由にならない。

反対討論 岡野 淳

これだけ大きな規模の事業が、突然中止の納得いく説明も資料もないまま、予算減額を認めることは到底できない。

反対討論 相公正一

協議会が事業を苦渋の思いで中止し、委託契約の解除をしなければならぬ状況に至った経緯が明確になっていない。

※賛成11、反対10で可決

一般会計（6号）

5億9、532万円

おもな財源

県支出金

1億8、638万円

おもな使いみち

中山間地域所得向上支援事業費
3億6、950万円

農産物の販売機会の増加や安定した農業用水確保により、担い手農家の農業所得向上を図る。

※全員賛成で可決

その他特別会計補正予算17件は全員賛成で可決

条例

■介護保険条例の一部改正

賛成討論 志村 清

基金を取り崩し、保険料を抑える努力は評価するが、少ない年金から天引きされる仕組みでもあり、保険料引き上げにつながる条例改正である。

賛成討論 保坂多枝子

他市と比較しても保険料は低く設定されており、設定にあたり工夫を重ねている。低所得者への負担軽減もある中、応分の負担である。

※賛成19、反対2で可決

契約

▼委託変更契約

中央本線小淵沢駅合築駅舎等新設工事東日本旅客鉄道株

※全員賛成で可決

その他

▼市道路線の変更

過疎地域自立促進計画の変更

▼土地改良事業の計画の概要

※全員賛成で可決

諮問

▼人権擁護委員の候補者の推薦

加藤 明子（小淵沢町）

※全員賛成で適任

報告

▼専決処分

（損害賠償の額の決定）

選挙

▼下来澤恩賜県有財産保護組合協議会議員

守屋 陽司（須玉町）

動議

▼資格決定要求書

※詳細は7ページに掲載

平成30年度当初予算おもな事業

～8つの杜づくり～

●教育・文化に輝く杜づくり

健幸 高根統合小学校整備事業 2億3,089万円
 高根地区3小学校統合に向けた事前交流や閉校記念事業の実施
 校舎や付帯施設、スクールバスなどによる通学の安全対策のための周辺整備



●産業を興し、富める杜づくり

健幸 女性起業家活躍支援事業 430万円
 女性の活躍を促進するため、新たに創業する女性への支援を実施



●安全・安心で明るい杜づくり

健幸 健幸長寿社会創造プロジェクト事業 2,962万円 (介護保険特別会計)
 地域包括ケアシステムの深化・推進および介護保険制度の持続可能性の確保のため、自立支援・重度化防止に向けた取組を推進



●基盤を整備し豊かな杜づくり

健幸 若者が暮らしやすい市営住宅居住性向上事業 2,600万円
 市内への定着化を図るため、若者世代を中心に人気の高い市営住宅について、現在のライフスタイルに合った改修を実施



●交流を深め躍進の杜づくり

健幸 鉄道利用通学者支援モデル事業 300万円
 鉄道を利用して県外の大学などへの通学者に対する、通学定期券の購入費用を助成



●環境日本一の潤いの杜づくり

共生 南アルプスユネスコエコパーク推進事業 2,668万円
 豊かな資源を継続的、永続的に利活用した魅力あるまちづくりを推進するための、地域活動への支援や登山道の整備などを実施



●品格の高い感動の杜づくり

戦略 「水の山」映像祭事業 702万円
 市内外に「水の山」ブランドを広く周知するため、昨年実施したシナリオコンクールのグランプリ作品を映像化するとともに、それに関わった方々の活動などをTVやWEBを活用してPR



●連帯感のある和の杜づくり

指定管理者パートナーシップ強化事業 52万円
 指定管理者制度に係る官民協働の研修などの実施



健幸 …「お宝いっぱい 健幸北杜」を基礎とした「子育てと福祉」「雇用と産業」「教育」「スポーツと芸術」「若者と女性の活躍」の5つを柱とした主要施策

共生 …ハヶ岳定住自立圏 共生ビジョン

戦略 …北杜市総合戦略

※金額は万円未満を四捨五入しています。

賛否のあった議案 (議長を除く)	栗谷	池田	秋山	進藤	藤原	清水	井出	志村	齊藤	福井	加藤	原	岡野	相吉	清水	野中	坂本	保坂	千野	内田	秋山	結果
案件	真吾	恭務	真一	正文	尚	敏行	一司	清	功文	俊克	紀雄	堅志	淳	正一	進	真理子	静	多枝子	秀一	俊彦	俊和	
介護保険条例の一部を改正する条例について	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	可決
平成30年度一般会計予算	○	×	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	可決
平成30年度国民健康保険特別会計予算	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	可決
平成30年度介護保険特別会計予算	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	可決
平成29年度一般会計補正予算(第5号)	×	×	○	○	○	○	○	×	×	○	○	×	×	×	×	×	×	○	○	○	○	可決

○=賛成 ×=反対

委員会レポート

＝ おもな質疑・討論の内容 ＝

総務

常任委員会

付託された事件4件と、
請願1件を審査した。

ケーブルテレビ情報連絡施設条例及びケーブルテレビ事業管理運営基金条例の廃止

問 仮契約の内容は。また、市民への周知方法は。

答 現在の事業を10年間は継続するよう契約。周知文書の配布、広報誌、ホームページ等で周知。

職員の自己啓発等休業に関する条例の一部改正

問 この休業を取得した職員はいるか。積極的に認めていく予定か。

答 取得職員2人。人材育成のため、取り組む。

職員の育児休業等に関する条例の一部改正
※以上3件全員賛成で可決

一般会計予算(所管分)
議会会議録検索システムが導入される経緯は。

答 これまでの会議録は、1万ページを超え、過去の会議録検索が困難なことから、導入を検討してきた。31年度にCATV事業を民間に移管するため、インターネット中継もできるシステムを導入する。



会議録の検索をスムーズに

反対討論 清水 進

線上償還や自衛隊協力会連合会分担金、個人番号制度事業費の財源を教育や福祉サービスの向上に充てるべき。

賛成討論 加藤 紀雄

将来に向け、必要かつ重要な課題に的確に対応できる一方で、財政健全化路線を継承し、内容の充実したバランス感覚のある予算。
※賛成6 反対1で可決

【請願】

憲法「改正」国会審議での慎重審議を求める意見書提出請願

▼請願者 星 匠
▼紹介議員 志村 清

改正内容を確認することなく意見書を提出することは、国会の議論を制限することになり、また、国会の状況を見守る必要があるため、請願に對し結論を出すには難しいことから継続審査とした。

※継続審査

経済環境 常任委員会

付託された事件11件を審査した。

優良乳用牛貸付けに関する条例の一部改正

問 根拠法令の改正内容は。 **答** 自然災害のみが対象であったが、農業収入全体も補償対象になる。

県営土地改良事業分担金徴収条例及び土地改良事業分担金徴収条例の一部改正

受益者の負担割合は。 **答** 農道、用排水路関係土地改良事業ならびに圃場整備は、工事費の10%。その他は15%である。

企業等振興支援条例の一部改正

問 実績および効果は。 **答** 29年度固定資産税の減免額746万円。694人が雇用された。

※以上3件全員賛成で可決

一般会計予算(所管分)

問 北杜のお宝お知らせ隊事業の内容は。 **答** 観光名所を知ってもらうため、素敵な北杜めぐりツアーを企画し、6月から2月の間に3回開催。また、親子を対象に夏休みと冬休みにも開催。

土地開発事業特別会計予算

問 工事費の新たな計上は。 **答** 防草シートを設置し管理しやすくする。

市道路線の変更

簡易水道事業特別会計予算

下水道事業特別会計予算

農業集落排水事業特別会計予算

財産区特別会計予算

※以上7件全員賛成で可決



北杜の観光名所

反対討論 池田 恭務

効果検証と次年度への反映が、市民が納得できるレベルで実施されているか確信できない。

賛成討論 秋山 俊和

厳しい財政状況の中、市政の発展や市民の生活を助けるための予算となっている。

※賛成5 反対1で可決

新エネルギー事業特別会計予算

問 施設管理に對する、委託料増加の要因は。 **答** 機器を計画的に更新するため。

土地開発事業特別会計予算

問 工事費の新たな計上は。 **答** 防草シートを設置し管理しやすくする。

市道路線の変更

簡易水道事業特別会計予算

下水道事業特別会計予算

農業集落排水事業特別会計予算

財産区特別会計予算

※以上7件全員賛成で可決

文教厚生 常任委員会

付託された事件19件を
審査した。

でいる状況。これまで工
夫し保険税を抑えてきた。
また、応分の負担も考慮
されている。
※賛成4 反対1で可決

■指定介護予防支援等の 事業の人員及び運営並 びに指定介護予防支援 等に係る介護予防の方 法の効果的な支援を定め る条例の一部改正

後期高齢者医療に関す
る条例の一部改正

住所特例が規定さ
れると対象になる方は。

国民健康保険に加入
していた方が、後期高齢
者医療に加入した場合に
適用。
※全員賛成で可決

■介護保険条例の一部改正

保険料改定の影響額
は。また、基金残高は。

高齢者の増加等によ
り4、883円となった
が、基金取り崩しにより
4、300円に抑えられ
た。基金残高は、約4億
1千万円。

反対討論 志村 清

安い保険税を保つてき
た北杜市として、工夫を
さらに重ねて保険料の値
上げを避けるべき。

賛成討論 保坂多枝子

高齢化・重度化が進ん

市立病児・病後児保育
園条例の一部改正
問 前日午後4時までの
申し込みは大変であるが、
改正により、午前中
に申し込むことで午後の
利用ができることになる。
問 協定を締結する市町
村の範囲は。

■市立病児・病後児保育 園条例の一部改正

県内の市町村と締結。
問 協定を締結する市町
村の範囲は。

■学校体育施設等の利用 に関する条例の一部改 正

甲陵高校講堂の平日
夜間の施設貸し出し管理
は。

■甲陵高校の事務局職 員が行う。

国民健康保険条例の一
部改正
国民健康保険税条例の
一部改正
指定地域密着型サービ
スの事業の人員、設備
及び運営に関する基準
を定める条例の一部改
正

■国民健康保険条例の一 部改正

特定教育・保育施設及
び指定地域型保育事業
の運営に関する基準を
定める条例の一部改正
市立保育園条例の一部
改正

■市立保育園条例の一部 改正

一般会計予算(所管分)
問 いずみ保育園は、何
人の園児の受け入れが可
能か。また、工事の概要
は。

■一般会計予算(所管分)

定員150名。鉄骨
造平屋建て、延べ床面積
1、200平方メートル。
仮園舎敷地管理業務
420万円。工事監理業
務に955万4千円。仮
園舎の借上げ料777万
6千円。新園舎建設工事
に5億3、600万4千
円を予定。

賛成討論 保坂多枝子

運営が変わる中で、健
康管理などを考慮してい
る。また、県と市の整合
性が図られている。
※賛成4 反対1で可決

反対討論 志村 清

市債削減は必要だが、
市民に我慢を押しつけな
がら繰上償還すべきでな
い。

賛成討論 千野秀一

「健幸北杜」の政策的
事業が随所に盛り込まれ、
新しい時代の新しい取り
組みの予算である。
※賛成4 反対1で可決

■国民健康保険特別会計 予算

今後の基金の活用は。
答 基金は、医療費の急
激な上昇に対応するため
のもの。被保険者の減少
や税収の減少にも充てる。

反対討論 志村 清

高い国保税を引き下げ
るため、基金を活用して
いない。

賛成討論 保坂多枝子

運営が変わる中で、健
康管理などを考慮してい
る。また、県と市の整合
性が図られている。
※賛成4 反対1で可決

介護保険特別会計予算
問 特別徴収と普通徴収
の割合は。
答 特別徴収91・8%。
普通徴収8・2%である。

反対討論 志村 清

条例改正により、保険
料が値上げとなる。工夫
をさらに重ねて値上げを
避けるべき。

賛成討論 保坂多枝子

増額し、元気な高齢者
を増やすための施策とし
て、高齢者交流の場や認
知症対策など設けられて
いる予算である。
※賛成4 反対1で可決

■病院事業特別会計予算

年間患者数の算定方
法は。
答 効率的な運営をする
中で患者数を見込んだ。

■後期高齢者医療特別会 計予算

居宅介護支援事業特別
会計予算
■辺見診療所特別会計予
算

■白州診療所特別会計予 算

※以上5件全員賛成で可
決



講堂を市民の学習活動の場に

全員協議会において、補正内容について執行の詳しい説明をもとめ、慎重に審査する必要があると全議員の意見が一致したことから、特別委員会を設置することとした。

一般会計補正予算 特別委員会

2月27日の本会議において、総務常任委員8名による特別委員会が設置され、付託された事件1件を審査した。

■一般会計補正予算 (第5号)

問 臨時財政対策債を借り入れしなかったことによる財政的な影響は。

答 本来償還すべき約9億円が20年間金利を含め交付税措置される。

問 国際交流基金積立金の経緯と目的は。

答 国際交流委員会は、マディソン郡との交流を目的に組織され、高根・長坂・大泉・小淵沢の町村が各1億円出し合い事業を実施してきた。合併し、事業は実質市が行なっていることから市が継承し実施する。

問 増富地域再生協議会の監査はどのように実施

したか。

答 平成29年4月21日に増富出張所において、地域の監事と監査を行い、書類の修正や不備を指導した。

問 29年度協議会の会長として事業を継続しないこととした経緯の説明と資料の提出を求める。

答 29年5月から7月まで事業を練り上げてきたが、事業を実施できず、半年では事業を行うこと



みずがき山自然公園から望む瑞牆山

が困難であった。会計処理に不安もあり交付金事業を中止した。資料提出については、理事会で出さないと決定したため。

問 市は協議会に対して現金出納簿などの必要な書類についてしつかり指導してきたのか。

答 協議会に対しては、書面などで指導してきた。

問 倉庫の購入に38万9千円の不正な支出があったと説明があった。不正を行った受託者と委託契約を継続できるのか。

答 一般的に委託契約を継続することは難しい。

問 協議会が事業を継続しないとした経過もあるが、不正があり、契約を継続するのは困難であると考えられるが。

答 協議会の中で不正な公金受領が発覚したことは大変遺憾である。協議会内部にもいろいろな問題があり、現時点では単に交付金を支払うことは困難であるため、契約解除し減額した。

反対討論 清水 進

地方創生推進交付金事業中止の明確な説明がさ

れていない。また、事業中止の責任の所在も不明であり原因解明が必要である。

賛成討論 内田俊彦

協議会は、自分たちの判断により地方創生推進交付金を使わずとも事業ができるという事を決め、委託契約をやめた。市として減額することは当然である。

反対討論 相吉正一

事業中止を決めた臨時総会等の資料が添付されていない。協議会は断腸の思いで、契約解除に至ったとのことであり、その理由が明確にされるべきである。

賛成討論 加藤紀雄

事務処理上の不適切な部分や会計処理ができていなかった。減額は大変な決断であり、国との関係は大変なことになるとを承知した判断は苦渋の決断である。

反対討論 原 堅志

地方創生推進交付金事業の減額理由が明確でなく、協議会の資料も提出されないため。

※賛成4 反対3で可決

資格審査 特別委員会

資格決定要求書

▼提出者 岡野 淳

▼議員氏名 藤原 尚

▼提出理由

地方自治法第127条第1項には「普通地方公共団体の議会の議員が被選挙権を有しないものであるとき…はその職を失う。その被選挙権の有無…は、議会がこれを決定する。」とある。

市議会議員の場合、被選挙権を持つには「その市に住所がある」ことが必要であり、「住所がある」とは単に住民票があるだけでなく、生活の実態がなければならぬとされている。

これらのことから、北杜市議会において、藤原尚議員の被選挙権の有無について、調査、決定することを要求する。

3月16日の本会議において、資格決定要求書が提出されたことから、同日、資格審査特別委員会が設置された。委員に、次の8人の議員が選任され、選挙により委員長と副委員長が決定した。

■議員の資格決定の件について

●委員長 齊藤功文

●副委員長 内田俊彦

●委員 加藤紀雄

原 堅志

相吉正一

清水 進

千野秀一

秋山俊和

付託された事件1件は、閉会中の継続審査となった。



渡辺市長の所信表明

「人と自然と文化が躍動する環境創造都市」の実現に向け 「市民一人ひとりが輝ける“愛でつながる北杜市”を目指し 全力で邁進してまいります

市政の状況

「人と自然と文化が躍動する環境創造都市」の実現に向けた「8つの杜づくり」を進めるにあたり、市民や地域、企業、行政が一体となり、同じ目標に向かって連携を図り、一生涯健康で幸せに暮らせるふるさと北杜を目指すため、「お宝いっぱい 健幸北杜」を基礎とした施策を展開してまいります。

1 公共施設等総合管理計画の推進

公共施設の課題や将来に向けてのあり方などの情報共有と、市民の意向把握を行いました。多くの市民や関係団体とのワークショップで、本市の抱える課題等を共有し、中長期的な視点から、施設分類ごとの個別計画を2カ年計画で策定します。

2 人材育成の充実

「魅力ある地域づくりは人づくりから」との理念で、職員一人ひとりの資質と能力の向上を目指し、官民協働や部局の横断的な事業に取り組める中核人材の育成と、市の資源や特性を生かした地

方創生の推進につなげたいと考えています。



人材育成に向け連携

3 国民健康保険制度改革

市町村間の格差が大きいなどの問題を抱え、財

政・事業運営の両面にわたる抜本的な改革が急務です。国保運営の主体は市から県へと変わりますが、納付や各種届出・申請方法は変わりません。市民の健康保持増進に努めていきます。

4 介護保険事業

2025年には団塊の世代が75歳以上の後期高齢者となり、医療・介護ニーズへの需要が高まります。地域包括ケアシステムの深化・推進と、高齢者の自立支援・要介護状態の悪化防止など、安全に暮らせるまちづくりに努めます。

5 病児・病後児保育園

病児・病後児保育園は、これまでに198人の登録をいただき、児童受け入れを行いました。子育て世代の利便性向上などの要望にこたえるため、広域利用がスタートします。今後子育て世帯の就労しやすい環境づくりに努めていきます。

6 雇用対策への取り組み

人口減少社会の進展で、市内企業の人手不足が深刻です。市内企業に特化した「就職ガイダンス」の開催や、新たに「就活女子会」の開催など、人材確保支援や、魅力ある働き方の推進と、多様な人材の活用に取り組んでいます。

7 高根地区の小学校統合

高根地区3小学校の統合で、新たに開校する高根東小学校の校章が、教育委員会で正式に決定しました。校歌はシンガーズンライター・森山良子さんに制作を委託しています。来年4月の学校統合に、万全を期していきます。

8 県立八ヶ岳スケートセンターの存続

県立八ヶ岳スケートセンター存続に向けた要望書を、県知事に提出しました。存続を強く要望し、早い時期に判断するとの

9 史跡梅之木遺跡

回答をいただきました。引き続き関係団体と協力し、施設の利用促進に取り組みたいと考えています。

国史跡指定を受けた「史跡梅之木遺跡公園」は整備が完了し、4月27日に開園式を行い供用を開始しました。みんなでつくる「縄文ムラ」をコンセプトに、体験学習や活用イベントを通じて、施設の充実を図ります。

10 甲陵高等学校講堂の移管と整備

甲陵高等学校教育振興会が建設した講堂は、スパー・サイエンス・ハイスクール事業など、高一貫校の特色ある教育プログラムを実践する場として必要な施設です。講堂の移管を受け、改修工事を実施し広く活用していきます。

① 予算策定の基本方針は。
 ② 主要な施策・事業は。
 ③ 女性の視点からの特徴ある事業は。
 ④ 普通交付税の合併特例措置は32年度で終了する。厳しい財政運営が予想されるが、本年度予算への反映は。

市長 ① 交付税の段階的縮減に対応し、事業の選択と集中を図り、重点的かつ効率的な予算配分に努めた。
 ② 子育てと福祉、雇用と産業、教育、スポーツと芸術、若者と女性の活躍の5項目を柱にして取り組む。
 ③ 創業促進支援事業の中に特別枠を設け、「女性起業家活躍支援事業」を実施する。「就活女子会」を継続する。
企画部長 ④ 歳入では、市債発行額を元金償還額の範囲内に抑制し、歳出では厳しいシーリングを設定し、事業効果や優先度を精査した。



ほくと未来

かとうのりお
加藤 紀雄

事業の選択と集中で効率化

当初予算は

問 広域観光の推進は

① 八ヶ岳観光圏事業の5年間の実績・成果は。
 ② 八ヶ岳観光圏事業は日本版DMOに認定された。組織、事業内容、活動等に大きな変化は。
 ③ 道の駅「こぶちさわ」の新築、増改築の計画は。

答 ブランド力を向上させる

市長 ③ 売り場面積が狭く販売機会を逃している。直売施設と地域食材供給施設を整備する方向。



「道の駅こぶちさわ」新築へ

産業観光部長

① 宿泊滞在プログラムの開発、「標高サイン」、「寒いほどお得フェア」など多くの事業を実施。多言語マップの整備等で観光圏事業の更なる推進に期待。
 ② 大きな変化はないが、ワンストップ窓口の役割強化や、外国人観光客の受け入れ環境の整備等に取り組む。ブランド力を向上させる。

問 市立保育園の整備は

① 昨年12月、保育園整備計画が策定された。内容と効果は。
 ② 計画期間は10年間。新築、改築の予定は。

答 長寿命化を図る

福祉部長 ① 長寿命化を基本に、各施設の評価点を踏まえ、整備内容と順番を定めた。
 ② 改修を基本にしているが、費用が多額になる場合や、統合のケースは建て替えも検討する。

問 国民健康保険制度の改正は

① 改正後の県と市の役割は。
 ② 納付金の算定方法は。北杜市の30年度の納付金は。
 ③ 国保税の税率改正の考えは。

答 当面は税率維持

市民部長 ① 財政運営の主体は県。市は保険給付、税率決定、保健事業など、市民と直接かわる事務を担う。
 ② 県は医療給付費等の見込みを立て、市町村ごとの年齢構成の差異を調整し、所得水準等を考慮し、市町村ごとの納付金額を決定。30年度の納付金総額は、約16億1、486万円。
 ③ 税率は当面維持。4方式から3方式への課税方式の変更は、見直す必要があると考えている。



北杜クラブ

いで かず し
井出 一司

30年度予算は

施策を練り上げた

- ①市長公約の具体化は。
- ②予算編成の基本方針は。
- ③少子高齢化対策は。
- ④教育施策は。
- ⑤スポーツと芸術施策は。
- ⑥雇用と産業施策は。
- ⑦若者と女性の活躍施策は。
- ⑧交流施策は。
- ⑨生活環境施策は。
- ⑩公共交通対策は。
- ⑪道路整備対策は。
- ⑫28年度決算に対する監査意見への対応は。

5つの大きな分野において特徴ある施策に練り上げた。③保育園整備、「健幸」長寿社会事業等に取り組み。④高根小学校の4月統合に向け、万全を期している。⑤芸術・体育施設紹介パンフレット作成。日本体育大学との連携等。

⑥新たに企業立地用地基礎調査事業に取り組み。⑦女性起業家活躍支援、地域活性化センターとの連携。⑧鉄道利用者通学支援で通学定期券購入費を助成する。

- 市長** ①②「お宝いっぱい 健幸北杜」宣言に基づき、
- ⑨清里南部と須玉第一処理場の統廃合に取り組み。⑩ワークショップ開催、区長会や地域委員会と連携する。
- ⑪老朽化した市道や観光路線の整備、橋梁の修繕を行う。
- 企画部長** ⑫6億円を超える繰上償還等を計上した。

問 農業振興は

- ①農業の自立経営成立条件と農家数は。
- ②後継者・新規就農者への支援は。
- ③6次産業化の現状と今後の対応は。
- ④「安全・安心 日本のお所北杜市」宣言後の状況は。
- ⑤農業法人への支援策は。
- ⑥耕作放棄地対策は。
- ⑦今後の農業振興策は。

答 担い手確保に努める

- 産業観光部長** ①農業所得400万円、年間労働1、700時間程度が目安。認定農業者211人。
- ②後継者には「果樹王国やまなし就農支援事業」、新

規就農者には農業教育助成金等を活用。

③地産地消協力店登録、6次産業化養成講座を実施。

④御用聞き事業、首都圏への農産物移動販売を準備中。

⑤19の集落営農組織設立。大規模法人は県と連携支援。

⑥国、県の補助事業を活用し、解消を図っている。

⑦認定農業者、新規就農者、営農組織の規模拡大が重点。



農業地域おこし協力隊

問 林業振興は

- ①林業従事者の確保は。
- ②林業後継者の育成は。
- ③市内材の活用は。
- ④林業の成長産業化と多面的機能の実現策は。
- ⑤荒廃森林の整備は。

答 木の駅プロジェクトを計画

- 産業観光部長** ①②「林業地域おこし協力隊」を導入。
- ③「木の駅プロジェクト事業」を計画している。
- ④林地台帳を整備、新たな森林管理システムを構築する。

問 商業振興は

- ①個人商店・商店街の現状認識は。
- ②個人商店・商店街への関わりは。
- ③「買い物難民」への対策は。
- ④空き店舗対策は。
- ⑤商店街のリーダー育成は。
- ⑥スーパリーやまとの空き店舗活用策は。

- ⑤松くい虫被害防止のための樹種転換に助成する。
- ⑥17年度から、市の事業で1、883畝の里山を整備した。
- ⑦木材の安定供給とコストが課題。



- ⑦ 移動販売実施店舗数は。
- ⑧ 今後予想される電子商店街等を考慮した振興策は。

答 厳しい環境に対応

産業観光部長 ① 高齢化、後継者不足が深刻。

- ② 利子補給やポイントカード事業に支援している。
- ③ 宅配サービス、移動販売など商業環境の整備に努める。

④ アンテナショップや移住者の開業に活用する。

⑤ 既存の青年部組織の強化に支援していく。

⑥ 1社が積極的。他にも手を挙げているという情報がある。

⑦ 1社が県内スーパーと連携し3コースで週2回、梨北農協が平日に40カ所を巡回販売している。

⑧ 全国の先進事例を参考に、商工会とともに検討したい。

問 工業振興は

① 製造業、建設業などの現状は。

② 事業承継支援策は。

③ 新規事業展開への支援は。

- ④ 人材確保支援は。
- ⑤ 企業の声を集め、市政に反映させる方策は。

⑥ 小規模企業施策の継続性、一貫性は。

答 出荷額は県内4位

産業観光部長 ① 製造業

227社約5千人、建設業306社1、300人。26年製造品出荷額は約1、906億円で県内4位。

② 商工会などと連携して事業承継を支援していく。

③ 立地助成や固定資産税免除、販路開拓支援等を実施。

④ 就職ガイダンス、人材確保セミナー等の施策を実施。

⑤ 「北杜市企業交流会」で意見交換、要望聴取している。

⑥ 地域特性や産業状況を勘案、適切な施策推進に努める。

問 観光振興は

① トップセールス対応は。

② 宿泊実人数減少の原因と対策は。

③ 長期滞在対策は。

④ 観光消費額の拡大対策は。

- ⑤ 2020オリンピックに向けた外国人観光客の誘致策は。

⑥ アンケートの中で不満が高い公共交通対策は。

答 魅力的なメニューを提供

産業観光部長 ① 例年の

トップセールスに加え、観光庁に協力要請、30年度からの観光圏支援につながった。

② 富士山圏域への集中が原因。広域的な誘客に努める。

③ 魅力的な体験メニュー、周遊プログラムを構築する。

④ その場でしか体験できないオンリーワンを増やす。

⑤ 外国人はスマホでの情報入手が主。アプリを充実する。

⑥ タクシーの「観光ルート別運賃」導入に向け協議中。



外国人モニターツアー

問 日本版DMOは

(※)

① 一般社団法人八ヶ岳ツーリズムマネジメントが、日本版DMOに登録された。市の対応は。

② 地域活性化の機能は。

③ 安定的な財源確保は。

④ 関係省庁の支援は。

⑤ 専門的な人材の確保は。

⑥ 八ヶ岳観光圏との整合性は。

⑦ 地域全体で考える視点とは。

答 八ヶ岳観光圏の

主軸

産業観光部長 ① インバウンド対策推進を軸に対応。

② 昨年、かじ取り役のシステム、DMS[※]を確立した。

③ DMO法人が対象となる国の補助事業に申請した。

④ 広域周遊観光促進のための支援事業は50%の補助率。

⑤ 再度、地域おこし協力隊を活用し1人の支援を考慮。

⑥ 観光圏事業の主体として期待する。

⑦ 「住んでよし・訪れてよし」を行動理念に活動する。

問 ゆうゆうふれあい計画は

① 第4次介護保険事業計画の課題は。

② 第5次介護保険事業計画の基本理念は。

③ 新規の取り組みは。

④ 介護保険料値上げの要因は。他市の状況は。

答 地域で支え合うまちが基本

市民部長 ① 医療との連携、人材・施設の確保が課題。

② 住み慣れた地域で安心して暮らせる基盤づくり。

③ 入浴支援改修、福祉用具購入助成で転倒防止を図る。

④ 介護報酬改定、消費増税に備える。13市の最低水準。

※日本版DMO

日本版DMOとは、地域の「稼ぐ力」を引き出すとともに、地域への誇りと愛着を醸成する「観光地経営」の視点に立った観光地域づくりの舵取り役として、多様な関係者と連携しながら、明確なコンセプトに基づいた観光地域づくりを実現するための戦略を策定し、戦略を着実に実施するための調整機能を備えた法人です。

※DMS

観光情報発信・管理システム



ともにあゆむ会

はら 原

けん し 堅志

増富地方創生推進 交付金事業は

地域活性化を支える

- 1、①事業の具体的経過は。
- ②総務部、須玉総合支所、増富出張所の役割分担は。
- ③28年度の検証と29年度への反映は。
- 2、増富地域再生協議会へ、事業費を支払う市の体制は。
- 3、事業中止となった経緯と理由は。
- 4、会計処理についての国・県との協議は。
- 5、事業中止の影響は。今後、地域への支援は。

須玉総合支所長

1、①28年6月に『地域再生計画』を国に申請。8月に国から事業認定。9月に地域へ事前説明。10月に増富地域再生協議会と業務委託契約締結。

②総務部は、国・県への申請事務と連絡調整、支所・出張所は受託者である協議会に対する助言・指導等の役割を担う。

③28年度は、モニターツアー、体操プログラム用指導画作成、健康科学大学との調査活動等を実施。29年度は、体験ツアーなどを計画。

2、契約に基づき、市から委託費の4割の前払金を支払うこととした。

3、昨年10月に、協議会から交付金事業を終了したい旨の相談、報告が市にあった。市としては事業継続の依頼をしたが、難しいとのことだった。現在、手続きなどを国・県と調整中。

4、『地域再生計画』の取り扱いと交付金事業の事務処理について、最終的にどのような手続きが必要になるかも含め、調整中。

5、交付金事業の有無にかかわらず、市としては、増富地域活性化の取り組みの後押しをしていく。

行政推進体制の強化は

- ①本庁舎、総合支所、出張所の在り方検討は。
- ②消防の広域行政連携は。
- ③定員適正化計画の進捗と人材育成基本方針の活用は。
- ④人事課の創設は。
- ⑤行財政改革の進捗状況は。
- ⑥公共施設等のマネジメント機能確立と推進体制は。
- ⑦統廃合後の学校施設などを計画。

市民とともに 取り組む

の活用は。未活用施設は。

⑧公共施設等総合管理計画説明会での意見と今後は。

市長 ⑥現在、市内には361の公共施設がある。

総合的・計画的管理にはマネジメント機能が重要。市民とともに取り組む。

企画部長 ①複合化・多機能化や類似機能の集約について、ワークショップなどを開催して検討する。本庁舎の在り方、場所などは先送りする。

⑤財政基盤の強化、行政運営システムの見直し、民間との連携、活力ある組織づくりの推進の四つを重点項目。



本庁舎・支所のあり方について検討

目に定め取り組んでいる。

⑦学校5施設など13施設を民間などに貸し付けている。未活用は旧増富小学校、旧白州デイサービスセンター。

⑧計画期間、縮減率、個別施設の公益性などについて、貴重な意見が出た。31年度末を目標に、個別計画を策定。

総務部長 ②消防の広域連携は、大規模災害対応、経費節減効果の観点から必須。

③退職と新規採用のバランスを図っている。計画的に人材育成に取り組んでいる。

④機構改革全体の中で検討する。今後、早急に対応していかなければ成らない事項。



就業促進住宅白州団地完成予想図

問 白州町関係事業は

- ① 県道駒ヶ岳公園線横手地内の拡張、駒城橋架け替えは。
- ② 白州小学校校庭前の市道工事の進捗状況は。
- ③ 勤労者支援住宅建設工事の進捗状況は。
- ④ 農業者住宅事業は。

答 可能な限り対応したい

- ⑤ 29年10月の台風被害の復旧状況は。
- ⑥ 山岳医療パトロールへの協力体制は。
- ⑦ 大武川区の旧デイサービスセンター跡地の活用は。
- ⑧ 県の釜無川水力発電所計画への対応は。
- ⑨ 尾白の森へのがの太鼓橋修復は。
- ⑩ 白州保育園・西部こども園の改築計画は。
- ⑪ 中学校の統合は。

市長 ⑥ 日本登山医学会の負担軽減のため、食事代や薬剤費などを支援する。

建設部長 ① 道路拡張は30年度から用地買収に着手。駒城橋は事業化に向け現地測量を実施している。

- ② 30年度は校庭前を整備、31年度の完成を目指す。
- ③ 昨年9月着工、本年12月完成予定。6月条例改正予定

産業観光部長 ④ 北杜市農業企業コンソーシアムが農山漁村活性化交付金を活用する事業に応募、採択された。

- ⑤ 農業関連9カ所の内、4カ所の復旧工事が完了、その他も今月中に完了の予定。林道災害も7月に完了予定。
- ⑨ 30年度に実施設計を行う。
- 企画部長** ⑦ 現在は普通財産。今後、活用法を検討する。

生活環境部長 ⑧ 地元の理解が得られず、13年度と26年度の2回計画は凍結された。山梨県企業局からは協議は継続する。今後、経過を注視していく。

福祉部長 ⑩ 整備順位は第3位。早急に大規模改修する。

教育長 ⑪ 現状規模の維持は困難。市民と議論を尽くす。

問 オリンピック事前合宿誘致は

- ① フランス自転車BMXが誘致できなかった原因は。
- ② 誘致アドバイザーとの契約は。
- ③ フランス男子バレーボール協会との交渉は。
- ④ トップセールスは。
- ⑤ 誘致決定後の専属担当者の必要性は。

答 積極的に取り組む



ビーチバレーのオリンピック事前合宿地に決定しました

市長 ③ 1月の視察で高評価を受けた。交渉継続中。

④ 事前合宿誘致に向け、必要に応じ実施する。

教育長 ① 模擬コースの新設が条件。折り合わなかった。

- ② 合宿誘致と円滑な受け入れのため、2名に委嘱した。
- ⑤ 決定後は、新たな担当部署の設置を検討する。

問 議会のインターネット中継は

- ① 放送審議会の内容は。
- ② 会議録検索システム等の検討は。
- ③ インターネット中継のスケジュールは。
- ④ 本会議のインターネット生中継は。

答 31年度から配信予定

政策秘書課長 ① 市民アンケートの結果等を参考に、4回の審議を行った。アクセスの簡便さ、費用対効果の高さ等の観点から、ケーブルテレビの議会放送は廃止、会議録検索システムによるインターネット配信システムの導入が提言された。

② 会議録検索、議会中継配信システム導入事業費は、当初予算に計上した。

③ 録画配信は31年第1回定例会から実施の予定。

④ 当面実施の予定はないが、生中継の是非は議会でご議論いただきたい。



党 明 公
進藤 正文

ヘルプマーク・カードの導入は

新年度から取り組む

- ①ヘルプマーク・カードの普及導入は。
 - ②障害者支援での活用は。
 - ③避難訓練などでの活用は。
 - ④災害時避難所での活用は。
- 福祉部長** ①ヘルプマーク・カードは、援助や配慮を必要としていることが外見から分からない方々が、周囲の方に配慮を必要としていることをカードの提示によりお知らせすることで、援助を得やすくするためのもの、援助を必要とする声の代役となるヘルプマー



やさしい心づかいで手助けを

ク・カードの設置・導入に向けて現在準備中。30年度から取り組む。

- ②外見からは障害が分かりにくい場合などに有効活用が期待される。
- ③④思いやりの行動につながるよう啓発する。

問 学校での心肺蘇生教育推進は

- ①小中学校での取り組みは。
- ②学校の危機管理体制の現状は。
- ③AEDの設置状況は。
- ④教職員へのAED講習は。

答 AEDは全校に設置

- 教育長** ①6年生の保健体育、中学2年生で取り組む。
- ②「安全管理マニュアル」を各校が策定している。
 - ③市内全校に設置。充電状況など、定期的に点検を実施。
 - ④水泳シーズンの前に講師を招き、講習を受けている。

問 ひきこもり対策は

- ①北杜市として独自の実態調査は。
- ②「ひきこもりサポーター」の取り組みは。
- ③働きかけるアウトリーチ

- の取り組みは。
- ④相談窓口の現状は。

答 関係機関と連携する

- 市長** ①県の支援センターと連携し実態把握に努める。
- ②1月、サポーター養成講座を開催した。県内初の試み。
 - ③積極的な手段だが、拒否反応もある。ケースごと慎重に判断し進めたい。

問 記念撮影用ボード活用と届出手続きは

- ①記念撮影用ボードの取り組みは。
- ②届出時の市政PRは。
- ③ごみカレンダーや広報紙等の配布は。

答 丁寧な窓口対応を心掛ける

- 市民部長** ①撮影コーナー設置などが可能か検討する。
- ②暮らしの便利帖や子育てガイドブックの配布、健診の案内などを行っている。
 - ③ごみ収集は担当課に案内し、広報紙は最新号を配布。

問 総合健診は

- ①受診率向上のための土・日実施は。
- ②受診率と課題は。
- ③医療費、患者数の上位は。
- ④インフルエンザ予防接種の状況は。
- ⑤ジェネリック薬品の活用は。

答 継続受診、未受診の二極化が課題

- 市民部長** ①本年度の53日間のうち、土曜日は9日、日曜日は7日実施した。
- ②28年度は48・1%。男性の受診率が低く、継続受診者と未受診者の二極化が課題。
 - ③医療費の割合は、悪性新生物、人工透析を含む腎不全、高血圧疾患の順に多い。患者数は、高血圧疾患、糖尿病、消化器系疾患の順。
 - ④昨年度、接種対象1万7,692人、接種済1万1,127人。
 - ⑤本市国保のジェネリック医薬品使用割合は、昨年3月が72%と県下で1番高い。



日本共産党

志村 清

スーパーやまと閉店への対策は

深刻に受け止めている

スーパーやまとの倒産・閉店は、北杜市民の生活に大きな影響を与えている。

①空き店舗への入居計画は、
②移動巡回販売の実現性は、
③解雇された従業員への支援は、再就職の状況は。

産業観光部長 ①空き店舗の利用については、県内食品スーパー数社から、出店意向の聞き取りなど、情報収集を行っているところだが、破産管財人により処分が検討されている最中であるため、具体的な状況まで

は承知していない。
②移動販売車については、現在、民間事業者2社が、北杜市全域を巡回する方法と、5町3コースで販売する方法とで事業展開しているが、採算性が厳しいことから、新たに創業しようとする事業者は少ない。
③従業員については、管内の葦崎公共職業安定所で、失業給付手続き説明会や再就職相談会などが4回実施されたほか、事業者によるミニ面接会や緊急面接会が

7回実施されている。その結果、北杜市在住の求職者40人のうち、24人が就職した。生活相談受け付けや緊急生活支援の相談等は寄せられていない。



閉店したスーパーやまと跡地(須玉町)

問 国の悪政から暮らしを守る市政は

①4月からの国保広域化への対応は。葦崎市は国保財政調整基金を活用し、国保税を1人平均年間2万3、259円引き下げる。本市

の新年度予算では、一般会計からの繰り入れを1億7千万円減らししているが、繰り入れの維持と基金の活用で国保税の引き下げが可能では。

②政府の生活保護扶助費削減方針への対応は。生活保護の受給は国民の正当な権利だが。市長の認識は。

答 関係法令を順守して対応

市長 ②生活保護受給者に対する指導・指示内容は個人を特定する恐れがあり、詳細に説明はできないが、国の定める基準に即して行い、適正な保護の実施に努めている。国や県による抑圧的な指導はなく、生活保護関連法令等により、適正な対応を行うよう指導を受けている。

政府の生活扶助費削減方針、今回の見直しは、一般所得世帯の消費実態との均衡を図るため、生活保護基準の見直しが行われたと理解している。本年10月から実施されるが、本市への影響は、個々には差が生じるものの、全体としては負

の影響は少ないものと考えている。

生活保護世帯の子どもの大学進学を支援するため一時金を支給する制度が導入される。活用が図られるよう周知徹底に努める。

生活保護法では、「すべての国民は、この法律の定める要件を満たす限り、この法律による保護を無差別平等に受けることができるとしており、当然これを遵守すべきと考えている。

市民部長 ①②本市の1人当たり国保税は、県下13市の中では最も低い。30年度の納付金は、28年度の医療費に対し交付される前期高齢者交付金の清算金約1億5千万円が交付されることから、基金の繰り入れを5千万円に抑えられた。税率改定、引き下げは考えていないが、4方式から3方式への課税方式の変更に ついては、見直す必要があると考えている。

30年度当初予算の繰入金減額は、基金繰入金額の減額が要因、一般会計からの繰り入れを減らしたものである。



明政クラブ

あい よし しょう いち
相吉 正一

新年度予算の 重点施策と課題は

子育てなど5つの柱

- ①重点施策と市政運営に目指すものは。
- ②少子高齢化が進む中、予算編成上留意したことは。
- ③重要課題解決のため予算化した施策は。
- ④歳出抑制の工夫は。
- ⑤合併特例債が延長された場合、充当する事業は。
- ⑥病院事業の経営改善と二つの病院の役割分担は。

市長 ①子育てと福祉、雇用と産業、教育、スポーツと芸術、若者と女性の活躍の5つを柱として取り組む。

問 ふるさと納税の推進は

①ふるさと納税の現状と返

- ②事業の成果や施策の優先度を厳しく精査した。
- ③「地域医療構想」、病床機能の役割分担を検討する。
- 企画部長** ③「お宝いっぱい 健幸北杜」施策を計上。
- ④定員管理、物件費抑制、繰り上げ償還などを行っている。
- ⑤保育園整備などが想定される。

礼品目数は。

②30年度の納税目標額と推進策は。

③全国の上位を目指す取り組みは。

④制度に対する疑問、批判に対する市の考えは。

答 自主財源として貴重

総務部長 ①28年度428件、約1、365万円。30年2月まで340件、約1、832万円。返礼品は25種類。

②昨年より200万円増の1、500万円。返礼品を充実する。

③④自主財源確保の仕組みとして重要。増加に努める。

問 地域が抱える課題は

- ①各地域の現状についての認識は。
- ②市職員の役割は。

答 行政区は不可欠

総務部長 ①②地域市民の意向を取りまとめ、行政との連絡役となる区長の役割は重要だ。人口減少と高齢

化が課題。市職員は地域行事に積極的に参加している。

問 子どもの貧困問題は

- ①県が昨年実施した「子どもの生活アンケート」は。
- ②学校を通じた公的支援制度の周知は。
- ③子どもの貧困対策の今後の取り組みは。

答 必要な支援を実施

福祉部長 ①最終報告を待ち、必要な支援を行う。

③関係部局で構成する連絡協議会で支援策を検討する。

教育長 ②児童生徒に配慮し、慎重に対応する。

問 事業用太陽光発電施設の問題は

①北杜市独自の規制条例制定は。

②事業者や設置場所について、市の情報公開の実態は。

③市内の事業認定件数は。30年度の「みなし認定」は。

答 1月末時点の認定は1747件

建設部長 ①検討委員会の議論を踏まえ対応する。

②個人情報を除き、届出台帳を閲覧に供している。

③1月末、1、747件。旧法のみなし認定は把握できない。



再工ネ検討委員会の様子

総合計画と関連計画は



清水 敏行
(無党派)

宣伝ステッカー作成は

問 ①まちづくりの考え方、計画の進捗状況は。
②まちづくり計画と立地適正化計画の差異、考え方、具体的な取り組みは。
③移動販売による買い物支援、スーパールの早期誘致と情報提供は。

問 マグネットキャッチフレーズステッカー作成で、市の宣伝を提案する。

効果的なPR検討

産業観光部長 効果的なPRについて検討する。

熱見地区改善工事は

市長 ④計画は多角的分析・検討が必要。協働を視野に個別計画を策定。

建設部長 ①8総合支所周辺が地域拠点、実情にあった町づくりを進める。

多角的に分析・検討

産業観光部長 ③移動販売は2社、宅配4社、商工会と連携し情報提供。

建設部長 ①県に対し改善要望を行ってきた。

市長 ④計画は多角的分析・検討が必要。協働を視野に個別計画を策定。

建設部長 ①8総合支所周辺が地域拠点、実情にあった町づくりを進める。

産業観光部長 ③移動販売は2社、宅配4社、商工会と連携し情報提供。



交差点改良と案内看板移設を

除雪の迅速化図れ



保坂多枝子
(無党派)

問 除雪は業者に依頼しているが、仕組みを変えれば円滑に進む。

①除雪基準と地区割りはどうなっているか。ボランティアでは限界がある。
②地域の除雪に補助は。

市民と協働し除雪

建設部長 ①積雪10cmで除雪作業開始。建設安全協議会を中心に、機械の大きさや能力を考慮し、除雪に努めている。

②雪水対策に基づく除雪体制で実施。除雪は、幹線や集落間を連絡する路線などで、集落内の幅員の狭い市道・農道や法定外道路・歩道などは、各行政区の除雪機活用など、保護者や地域の協力をいただいている。除雪の費用は行政区の負担であり、

建設部長 ①県に対し改善要望を行ってきた。

市長 移転決定前には民間活力の導入など連携を模索していたが、入学者数減少が見込まれる。グループ校との連携視野にキャンパスを移転するが、その後も引き続き連携を図りたい。

建設部長 ①積雪10cmで除雪作業開始。建設安全協議会を中心に、機械の大きさや能力を考慮し、除雪に努めている。

②雪水対策に基づく除雪体制で実施。除雪は、幹線や集落間を連絡する路線などで、集落内の幅員の狭い市道・農道や法定外道路・歩道などは、各行政区の除雪機活用など、保護者や地域の協力をいただいている。除雪の費用は行政区の負担であり、

用は行政区の負担であり、



地域の除雪に助成を

補助制度はない。

帝京短大保育科移転は

問 帝京短大保育科が市から移転する。残念なことだが移転の経緯と市の考え、対応は。

引き続き連携を図る

市長 移転決定前には民間活力の導入など連携を模索していたが、入学者数減少が見込まれる。グループ校との連携視野にキャンパスを移転するが、その後も引き続き連携を図りたい。

給食センター統合後の市の考えは



池田 恭務
(無党派)

問 アンケートなど課題把握や解決の取り組みをしてこなかった姿勢への不安の声が多い。

①最低でも年1度は調査し、結果を公表すべき。
②温度の冷めない保温性のある容器にすべき。

アンケート実施も検討

教育長 ①アンケート実施、結果の公表を検討。

②北杜市立学校給食調理場運営委員会で協議する。

通学補助の市の考えは

問 ①補助を知らないとの保護者の声あり。どの

ように説明してきたか。
②小中9年間で数十万円の補助を受けてない可能性あり。どう考えるか。

通学支援に取り組む
教育長 ①市HPや学校が対象児童保護者へ知らせている。
②理解をいただき補助金を交付。遡求はしない。

シエラリングエコノミー市の考えは
問 世界の流れへの姿勢で市の将来像も変わる。
①民泊に対する考えは。
②Uberなど新技術の公共交通への活用は。



給食を適温へ要改善

一つひとつ要検討

市長 ②好事例の研究など行う。

産業観光部長 ①観光客の取り込みと周辺へ配慮したあり方の検討必要。

ふれあい支援農道は



秋山 真一 (北柱クラブ)

問 ①長坂町地内の通行止め箇所、原因の解析は。②復旧の工事内容は。③復旧の費用負担は。④開通日はいつか。

③エアコンの通年利用は。④学校運営費の増額は。⑤今後、義務教育振興実行委員会からの要望は。

設置計画立て推進

県と協議していく

産業観光部長 ①地下水の影響で路盤が凍上した。②路盤をはぎ取り、安定状況確認後、舗装を復旧。③県と市で負担。④通行止め解除は5月以降。全面開通は7月。

教育長 ①児童の8割以上が必要と回答。②2学期当初、供用開始。③年間を通して役立つ。④適切に予算対応する。

教育部長 ⑤学校関係者の総意と捉え、教育環境の充実に努める。

地域防災拠点の整備は

問 ①BCP・自然災害などへの対応計画は。

②避難所である小学校、災害時のエアコン活用は。

減災力を推進する

小学校エアコン整備は

問 ①アンケート結果は。②使用開始予定日は。

市長 ①減災力の強いまちづくりの取り組み推進。

総務部長 ②活用は可能。体調維持にも役立つ。

大泉地内、大規模太陽光発電事業計画は



齋藤 功文 (こもにあゆむ会)

問 ①区長連名で要望書が出された。市の対応は。②要望書の回答内容は。③要望書を検討委員会に資料として情報提供は。

地域との連携を指導

建設部長 ①県と連携し、事業者に要望内容を提供。②要綱による指導を回答。③情報提供の予定はない。



完成した大泉駅前トイレ

観光案内所一元管理は

問 施設の運営状況と、今後の管理運営方針は。

地域特性生かし誘客

産業観光部長 指定管理者が管理運営、民間能力活用しサービス向上図る。

地域課題対応事業費は

問 ①予算執行状況は。②予算使途の仕組みは。

優先順位付け決定

企画部長 ①全体1億円の予算で執行率99・8%。②地区要望に基づき、規模や時期など考慮し優先順位をつけ執行。

確定申告の受付は

問 ①混乱の教訓は生かされたか。②改善点は。

検証し総合的に検討

総務部長 ①各総合支所の開設日数の増、窓口・郵送でも受け付けた。

②会場の混雑緩和のため、国税庁HPの周知、今後検証し総合的に改善する。

小淵沢トイレの凍結問題は



岡野 淳 (こもにあゆむ会)

問 ①新築後最初の冬にトイレが凍結して使用不能になった原因は何か。②原因を誘発した要因はなにか。設計者の設計ミス、発注者の管理ミス、施工業者の施工ミス、日ごろの管理ミスか。

③トイレが使用不能になった責任の所在はどこか。④責任の所在をJRと協議した結果は。⑤修理費用はいくらか。⑥費用はこの負担か。

ドアとヒーターを設置

建設部長 ①～④大寒波の影響で、12月末にトイレが凍結し、使用できなくなった。対策として手洗い場の蛇口に電熱線を巻く、断熱材を詰めるなどの対策を講じたが、防げなかった。凍結防止対策は、JR東日本に高冷地であることを考慮し施工するよう協議してきた。対応が十分か否か、設計上のミスの有無について、原因究明を含め現在協議を行っている。駅舎建設はJRの施工。

⑤男女のトイレ入口にドアの設置と、各トイレ内にパネルヒーターを設置する。費用は約130万円。利用客などの利便性を最優先に対策工事を行い、費用負担は責任の所在と併せ、JR東日本と協議を行いたい。



凍結で使用不能に

一般質問

消防自動車 準中型免許の対応は



内田 俊彦
(公明党)

問 道交法改正で普通免許で運転できる車両総重量は3・5ト未満。

- ①消防ポンプ車3・5ト以上の保有台数は。
- ②免許取得助成制度の新設検討は。
- ③普通免許で可能な消防自動車導入の検討は。

免許取得支援を検討

総務部長 ①消防ポンプ車12台、給水車1台の計13台を保有。

②道路交法改正で、準中型自動車の免許が必要となった。地域の安全・安心な地域づくりに伴う消防団員活動のため、運転免許の取得経費に対する支援制度を検討する。

③普通免許取得者が運転可能な消防車両は、小型ポンプ積載車のみ。情報

新年度予算は



清水 進
(日本共産党)

問 ①北杜市以上に黒字の市は県内にあるか。

- ②財政見直し、黒字を少なく見積もっていないか。
- ③扶助費増額など市民要求に応える考えは。

女性創業は重要施策

市長 ①30年度に女性起業家活躍支援事業設置。

②女性の創業と活躍支援は重要な施策。起業希望者の情報収集に努める。

③就活女子会が好評、女性起業家交流会を新たに計画、アドバイスや成功事例を伝える。



女性が輝くいきいき北杜

問 改善などの指導は。

- ②財政見直し、黒字を少なく見積もっていないか。
- ③扶助費増額など市民要求に応える考えは。

将来的に楽観できない

企画部長 ①平成28年度における県内の実質単年度収支について比較すると本市の額が最大となっている。

②元利償還額が減少する35年度ころから、財政状況が厳しくなる傾向は変わらないと考える。

③財政状況は楽観視できない。義務的経費は実績や制度に基づき計上した。

旧奥石トアの解体工事は

問 周囲の安全対策が求められる。事態の把握、



地域にとって大切な学校

生活環境部長 アスベストを混ぜた外壁材使用で、解体工事中断。県から事業者の指導を強く求める。

中学校統合は考慮を

問 廃校で周辺部は過疎化が進行するなどの意見がある。統合の見解は。

意見聞き議論重ねる

教育長 統合は避けて通れない課題。学校関係者や市民の意見を伺い、議論を重ねていきたい。

議会の日程

2月

- 1日 議会広報編集委員会視察研修(1月31日)
- 6日 県市議会議長会議員合同研修会
- 7日 市町村自治講演会・議会運営委員会
- 14日 後期高齢者医療広域連合議会全員協議会
- 16日 議会運営委員会・全員協議会
- 19日 峡北広域行政事務組合議会全員協議会
- 20日 峡北広域行政事務組合議会定例会
- 21日 議会運営委員会・全員協議会
- 26日 後期高齢者医療広域連合議会運営委員会
- 27日 全員協議会
- 北杜市議会第1回定例会(開会)
- ※議会行政視察受入1件(茨城県常陸太田市)

3月

- 1日 議会運営委員会
- 2日 全員協議会・一般会計補正予算特別委員会
- 5日 総務常任委員会
- 6日 文教厚生常任委員会
- 7日 経済環境常任委員会
- 8日 一般会計補正予算特別委員会
- 9日 本会議(補正予算)・全員協議会
- 13日 広報編集委員会
- 14日 峡北地域広域水道企業団議会定例会
- 15日 本会議(代表質問)
- 16日 本会議(代表質問・一般質問)
- 資格審査特別委員会

4月

- 6日 広報編集委員会
- 13日 広報編集委員会
- 19日 山梨県市議会議長会定期総会
- 20日 山梨県市議会議長会定期総会
- 24日 山梨県市議会議長会定期総会
- 26日 山梨県市町村長・市町村議長会議

静岡県島田市議会 1月31日

- 島田市議会では、先進地の良いところをマネシ、市民アンケートをもとに市民に手にしてもらえらる議会だよりを目指している。「北杜議会だより」も、市民に親しまれる議会だよりにしたい。
- まずは、手にとって紙面を開いてもらうこと、このはじめの一步がないと無駄に終わってしまう。特に、これから地域を作っていく若者が議会に目を向けてもらうにはどうしたら良いのか、という視点も積極的に取り入れていきたい。



静岡県島田市議会

静岡県長泉町議会 2月1日

- 市民と議会だよりとをどのように結びつけるか工夫をしている。特に「わが町たんけんクイズ」のコーナーなどは、参考になった。
- 声のボランティアを起用しており、広報の一環として今からは大切なことと考える。
- 市民の政治離れが言われて久しいが、議会だよりが政治に関心を持ってもらうためには、非常に有効なツールになると思っている。より一層委員会内で議論していく必要があると感じた。



静岡県長泉町議会

組合議会報告

峡北広域行政事務組合議会

第1回定例会

2月19日に開催され、条例案件等14件について審議し、原案どおり可決・同意されました。

- 条例
 - ▼ 職員の勤務時間、休暇等に関する条例の一部改正
 - ▼ 職員の育児休業等に関する条例の一部改正
 - ▼ 職員給与条例の一部改正
 - ▼ 手数料条例の一部改正
- 平成29年度補正予算
 - ▼ 一般会計(第2号)
 - ▼ 常備消防特別会計(第2号)
 - ▼ ごみ処理特別会計(第2号)
 - ▼ し尿処理特別会計(第2号)
- 平成30年度当初予算
 - ▼ 一般会計
 - ▼ 常備消防特別会計
 - ▼ ごみ処理特別会計
 - ▼ し尿処理特別会計
- 人事(公平委員)
 - ▼ 眞壁 静夫
 - ▼ 小林まち子

峡北地域広域水道企業団議会

第1回定例会

3月13日に開催され、議長選挙が行われました。その他条例案件等4件について審議し、原案どおり可決されました。

- 選挙
 - ▼ 議長 森本由美子(葦崎市)
- 条例
 - ▼ 職員定数条例の一部改正
 - ▼ 職員の育児休業等に関する条例の一部改正
- 平成29年度補正予算
 - ▼ 水道用水供給事業会計(第1号)
- 平成30年度当初予算
 - ▼ 水道用水供給事業会計

後期高齢者医療広域連合議会

第1回定例会

2月21日に開催され、条例案件等7件について審議し、原案どおり可決されました。

- 条例
 - ▼ 職員の育児休業等に関する条例の一部改正
 - ▼ 個人情報保護条例及び情報公開条例の一部改正
- 平成30年度当初予算
 - ▼ 一般会計
 - ▼ 後期高齢者医療特別会計(第3号)

訂正とお詫び

議会だより53号に誤りがありました。10ページ北杜クラブの代表質問の記事中、生活環境部長の答弁③4行目の数字が誤っていました。訂正してお詫びします。

誤 ↓ 市全体の起債残高の約4割
正 ↓ 市全体の起債残高の約6割



馬場美濃守信春隊 いざ出陣!

声のひろば

移住って



山田千枝子
武川町

北杜に移住し12年、夫と2人農業や化学肥料を全く使わず、野菜と米を作り半自給の生活です。地元の人たちとの交流もあり、有意義な後半生を楽しんでいます。

最近感じることは、だんだん農業がやりにくくなっていることです。気候が不順で読みにくく、降雨や乾燥の難問が異常に長いものとなっています。サルやシカによる被害は言うに及びません。異常気象は過剰なCO₂が原因と言われています。CO₂は植物が吸収してくれます。田畑には作物が、林には多様な樹木という風景が、私たち人間に「害獣」と言われる動物にも優しい姿であり、市の掲げる水資源の保全となるのではないのでしょうか。北杜という市名を裏切らない市政の配慮をお願いします。

北杜市に暮らして30年



藤森真貴
小淵沢町

3人の子育てをし、皆ここで成人式を迎えました。彼らは自然豊かな故郷、北杜市にとっても愛着をもっていきます。ですからこの環境はぜひ守っていきたくと思っています。

私は選挙には当然行きますが、政治に声を届かせることには諦めムードで、議会を傍聴したこともありませんでした。先日初めて傍聴し、さまざまな問題について認識がなかつたことを恥ずかしく思いました。最近お年寄りを送迎する機会があり、免許返納後の生活には公共交通が必要であることを実感しました。赤ちゃんからお年寄りまで、安心して生き生きと暮らせる北杜市であるよう、自分なりによく考えて行動し、議会にも関心をもっていきます。

ふるやとの美林を



浅川弘徳
大泉町

先日、近くの山林が伐採されたのをきっかけに、周囲の林をのぞいてみると倒木が無数に見受けられ、その荒廃ぶりに驚きました。

要因としては、地権者が年老いて管理ができない、ふるさとから離れてしまっている。そして市外・遠隔地の所有者も多数あり、このような状況になっていると思われれます。そこは有害鳥獣の格好の遊び場・棲みかであり、特に道路や住宅隣接林での倒木は大変危険です。しかし、これへの対応は住民の力ではとうてい無理で、里山整備制度の推進も含め、今こそ行政と地権者、地域住民とが連携・協力し合える、森林荒廃防止の実効性ある新しい制度、条例の制定への取り組みを願うものです。

買物難民!?



清水 實
須玉町

親しまれていた近くのスーパーが閉店してからの何かと不便な生活をしており、車で25分ほど行けば他の

特に少子高齢化が進む中で車の移動がままならない住民にとっては大変生活しにくい状況です。以前は活気に満ちていた地域の商店。自助努力で何とか頑張ってくれてはいますが、このままでは過疎化の進行状況が憂慮されます。早急に対策を考え、この自然に恵まれた北杜市に多くの方々が暮らし、私達がより豊かに生活できる市になるよう願っています。

公共温泉めぐり



① フォッサマグナの湯



歴史ある名湯

⑩ 尾白の湯

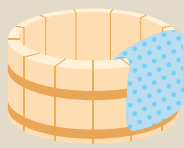


南アルプスを望む露天風呂

⑨ むかわの湯



甲斐駒を間近に



⑦ 延命の湯



信玄の棒道赤松林に囲まれて

③ 泉温泉健康センター



デイサービスと温泉で健康長寿

④ パノラの湯



しばし富士をひとりじめ

⑤ 増富の湯



ラジウム効果で健康浴

⑥ たがわの湯



富士と南アルプスを望んで

⑧ 健康ランド須玉



ジムと温泉でリフレッシュ

⑦ クララの湯



目の前に広がる大パノラマ



次回の定例会は
6月に開催する予定です
6月定例会の様子は7月に
CATVで放映予定です。
ぜひご覧ください!



■ 議会広報編集委員会

委員長	原 堅志	進藤 正文
副委員長	井出 一司	池田 恭務
委員	栗谷 真吾	藤原 尚
	秋山 真一	藤原 功文
	志村 清	

編集後記

今年も、例年より桜の開花も早く春の訪れが早く感じられます。

3月定例会では、14名の議員が代表・一般質問をしました。また、29年度の一般会計補正予算および特別会計予算および特別会計予算・請願の審査が真剣に審議されました。

今後とも市民の皆さまに、議会での審議の様子や行政の動きを分かりやすく、理解していただける「議会だより」の編集に努めてまいります。